



2年生社会見学 IN 福岡市科学館

5月19日（木）、2年生が福岡市科学館へ社会見学に行ってきました。ここは、科学を体験し、楽しむことを通じて、自由かつ自発的に学習することを目的とされた施設です。午前中は主に5階基本展示室、午後は6階のドームシアター（プラネタリウム）で学習をしました。

5階の展示室では、「宇宙」、「環境」、「生活」、「生命」と、未来について考える「フューチャー」からなる参加体験型の展示が数多くありました。生徒は、普段では体験できない学習体験を基に、科学への興味・関心を深く感じ取ってくれたことと思います。この基本展示室には、



全部で40個のブースがあり、それぞれのブースでスタンプを押すことができます。2年生のみなさんは、どれだけのスタンプが押せたでしょうか。

6階のドームシアターでは、プラネタリウムを体験しました。自然に近い星空を再現する最新鋭の投影機を駆使しており、臨場感あふれる映像を楽しむことができました。

私たちが学習したプラネタリウムの内容は、「宙語り（そらがたり）春」というものです。

前半は、春の北の空に浮かぶ「北斗七星」と、北斗七星を尻尾とする「おおぐま座」のお話や、1等星「アークトゥルス」を含む「うしかい座」のお話など、ドーム内の星空を見ながら星や星座に関する語り継がれる古き良き物語に、心が癒された人も多かったと思います。



後半では、ハッブル宇宙望遠鏡が、地球の上空約600kmの軌道上を周回しながら宙を観測する「宇宙にある望遠鏡」で、太陽系外惑星や暗黒物質（ダークマター）の存在など、天文学上の重要な多くを発見しているお話など、私たちの想像をはるかに超える広大なお話に驚かされたことと思います。現代では、「光の速さで129億年かかるような、はるか遠くにある星を見つけることができる。」ようになったのです。

なお、ハッブル望遠鏡は昨年引退し、その役割は後継機に引き継がれているということでした。



今回の社会見学では、「時間を守る」「姿勢正しく人の話を聴く」「黙食に協力する」「興味をもち、主体的に行動する」「館内でのマナーを守り、落ちついて行動する」等、当たり前のことが当たり前になっていました。これは、大切なことであり、素晴らしいことです。

1年生ふれあい活動 IN 大平台南公園

5月16日(月)快晴。1年生が大平台南公園&本校体育館で『ふれあい活動』を行いました。内容は、集団行動・公園清掃・レクリエーション。実行委員が活動内容を企画・運営し、みんなで協力して行ったはじめての学年行事です。今回は、振り返りの感想をいくつか紹介します。



○私はこの「ふれあい活動」を通して、友達や先生と楽しく協力し、ふれあうことができたと思います。2組のあまり話したことの無い友達や、1組の友達ももっと仲を深めることができました。例えば、班の友達が私に話しかけてくれたり、2組の人ともレクリエーションを通して話しかけてみたり、実行委員の人と意見を出し合ったりして、とても楽しい活動になりました。

○「ふれあい活動」で班の友達と仲良くなることができよかった。レクリエーションは、実行委員がたくさん考えてくれたレクを一生懸命楽しむことができた。はじめての学校行事ですごく楽しみだったので、「ふれあい活動」ができてよかった。集団行動は練習の成果を出せた。

○放課後も残って、みんなのためにたくさん企画してくれた実行委員はすごいと思った。今度は僕がみんなのために働きたい！

○実行委員として活動し、放課後残って準備するのは大変だったけど、仕事をする楽しさの方が勝っていて毎日楽しく準備することができました。実行委員会ですべて話したりして、どんどんよりよいものにしようとする時間はとてもいいな、素敵だなと思いました。今回の活動は、実行委員の存在も大きいけれど、毎日準備やリハーサルに付き合っていた先生方・公園の方・そして1年生のみんながいたから成り立った機会だと思いました。こうやってみんなで作り上げる活動がもっと増え、信頼関係やきずなを深めていけるといいなと思いました。



○実行委員は毎日のように放課後残って私たちが楽しめるように工夫をしてくれてすごいと思いました。私は人見知りでも前に立って何かすることが苦手だけど、もしまたそんな機会があったら挑戦したいです。

みんなの笑顔～最高に輝いていました！！

あいさつ運動 ～生活委員会～

5月16日(月)～20日(金)の1週間、生活委員会による『あいさつ運動』が行われました。朝一番の「おはようございます」～さわやかな1日のスタートです。

友達や先生方にはもちろんですが、毎朝、交差点などでみなさんの安全を見守っていただいている地域の方にも感謝の気持ちを込めて進んであいさつができるといいですね。

